説明資料



沖縄総合事務局
農林水産部農村振興課の業務

内閣府

内閣府沖縄総合事務局
農林水産部農村振興課

元気な農業応援します
沖縄の農業農村整備

農業農村振興の仕事とは

◆先人から受け継いだ農地や水を守り、さらに発展させる農業・農村の基盤整備【ハード面のアプローチ】と、

地域の創意工夫ある取組を後押しする地域活性化の政策【ソフト面のアプローチ】により、

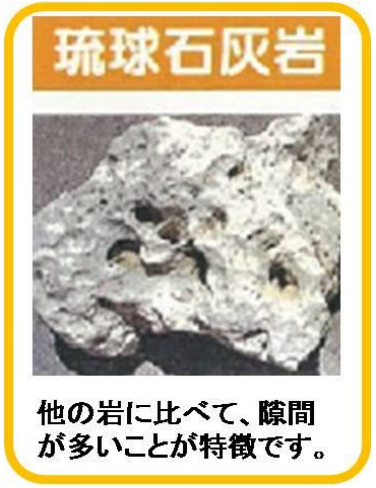
魅力ある農業・農村を次世代に引き継いでいくこと

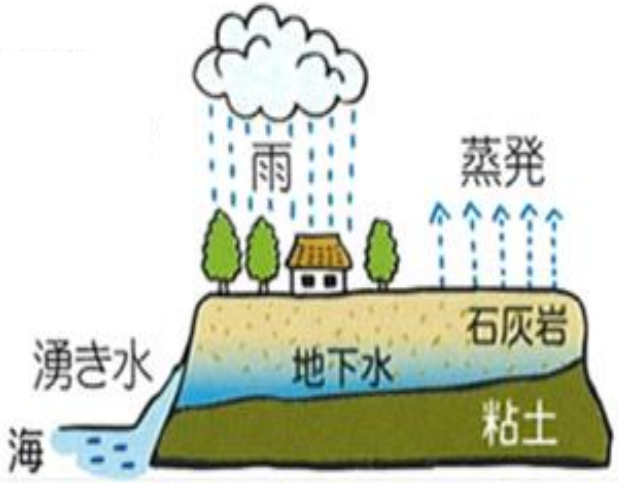
◆さらには、蓄積された基盤整備の技術やノウハウを用いて、国内のみならず世界の食料や農業・農村の課題の解決に貢献すること

地下ダム：沖縄で確立された技術



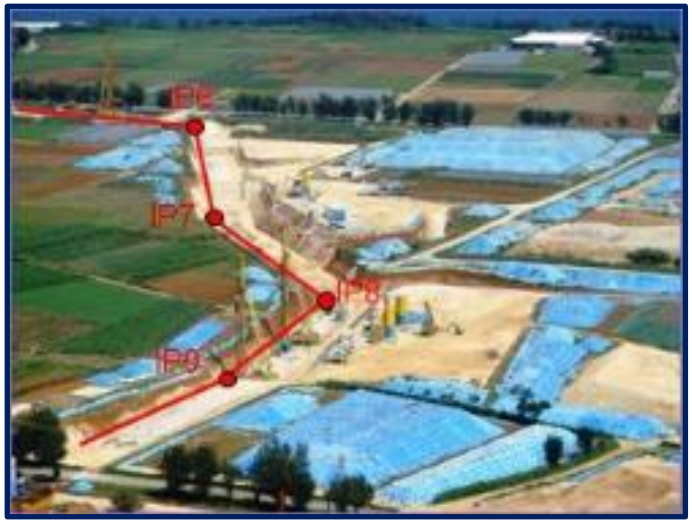
地下ダム施工状況



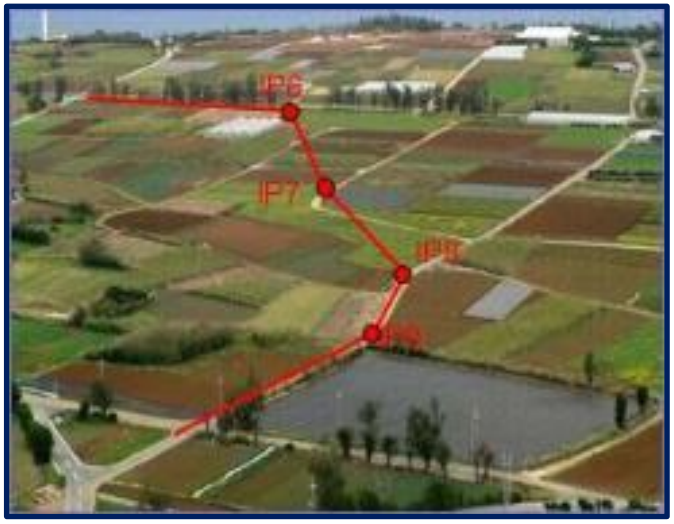




三軸削孔錐（通常部用）



地下ダム建設中（左）と地下ダム建設後（右）



※地下ダムの工事後は従前の土地利用が可能

全長16kmの水路で恵みの水を伊良部島へ


建設中の仲原地下ダム

仲原地下ダムで新規開発した農業用水を伊良部大橋を経由して伊良部島へ送水




伊良部(いらぶ)島の畑地へ農業用水を供給するため、
伊良部大橋の橋桁内部に用水管φ800mmを設置


伊良部島に建設したファームポンド

水の恵み：栽培が増えつつある野菜・果物



贈答品として人気の高い高級果実マンゴー



さわやかで濃厚な香りが特徴のパッションフルーツ



輸送に強いため、中小離島での普及が進みつつあるかぼちゃ



全国1位の生産量を誇るトウガン



沖縄と言えばゴーヤー。栽培地域も広がり全国区の野菜に



全国的にはまだまだですが、近年県産トマトも増加



施設ハウスを活用したピーマンも冬場の主要作物として定着

農村地域の活性化のための様々な取組

○ 少子高齢化・人口減少が進行する一方、「田園回帰」など農村の持つ価値や魅力が国内外で再評価。
○ 食、景観、自然環境、文化、歴史といった農村のもつ地域資源を活用して、地方公共団体や民間事業者、地域の方々、NPOなどが連携し地域活性化に取り組み。こうした取組を後押しする様々な政策を立案し、実施。

しごと

- **農山漁村発イノベーション**
  （地域資源と他分野を組合せた新たな価値創造）
- **農泊**の推進
- **ジビエ利用**の拡大
- **農福連携**の推進




くらし

- 定住条件の確保に取り組む地域の事例紹介、専門家の派遣や相談窓口の設置
- 農山漁村での暮らしと子育て環境の魅力発信
- **多面的機能支払交付金、中山間地等直接支払交付金**
- 生活インフラの確保（**情報通信環境**等）
- **鳥獣被害対策**
- 農村地域の環境保全




活力

- ディスカバー農山漁村の宝（**優良事例表彰**）
- **世界農業遺産**・日本農業遺産の認定
- **棚田**地域の魅力の発信（優良事例集、棚田カード等）
- 子ども農山漁村交流プロジェクト




農林水産関連の主な地域資源

<和食>



<SAVOR JAPAN >





<棚田>



<世界農業遺産>



<美しの森>



<ジビエ>



<漁港めし>



食

景観

<日本農業遺産>



<かんがい施設遺産>



<農作業体験>





体験

宿泊

<古民家>



<自然体験>





<文化体験>





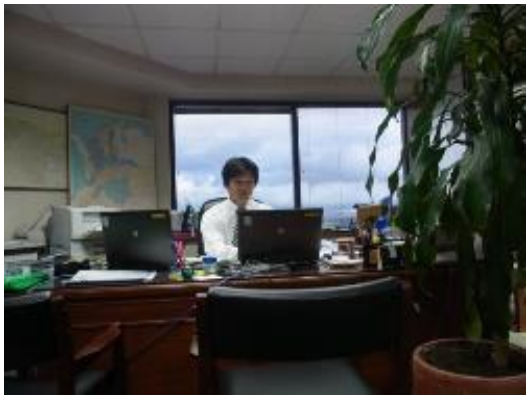
<農家民宿>



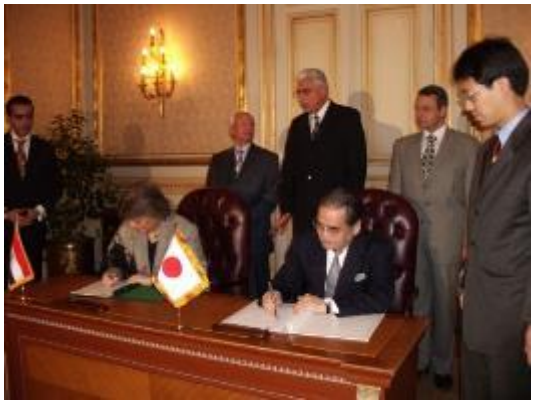
<漁家民宿>



＜大使館職員の業務の様子＞



執務室の様子（コロンビア）



エジプト国首相・大臣と日本国大使による資金協力の調印式に立ち会う書記官



資金協力で建設した橋梁の引渡式に出席する書記官（フィリピン）

＜JICA専門家の業務の様子＞



執務室の様子（東ティモール）



測量機器を用いたほ場の均平状況の確認手法を技術移転 （パキスタン）



プロジェクトに関係する農協職員とのワークショップ（ルワンダ）